

## 令和元年度 尾道市市民満足度調査の結果

尾道市では、平成29年3月に「尾道市総合計画」を策定し、「元気あふれ 人がつながり 安心して暮らせる ～誇れるまち『尾道』～」を本市が将来目指すべき都市像として掲げ、尾道らしい、尾道だからこそできる独創的なまちづくりを展開することにより、市民が誇れるまちの実現を目指しています。

このアンケート調査は、尾道市のまちづくりの取組について、広く市民のみなさまの考えや意見を把握し、これからの市政運営に役立てていくことを目的に実施したものです。

### ●調査の目的

尾道市総合計画前期基本計画の施策目標の達成状況、今後のまちづくりの取組の方向性等に関する市民の評価・意向を把握する。

### ●調査の方法

調査対象者

○令和元年6月現在で18歳以上の市民3,000名（無作為抽出）

実施方法

○調査票配布方法：郵便

○調査票回収方法：郵便（尾道市役所宛て、一部インターネット回収）

実施期間

○調査票発送日：令和元年6月～7月

### ●調査票の回収結果

有効回収数は1,137票（有効回収率は37.9%）

※ 以下、グラフ等に断りのない場合の回答数は1,137件です（ $n=1,137$ ）。

（平成27年度調査の回答数は1,180件です（ $n=1,180$ ）。）

# 1. 回答者の属性

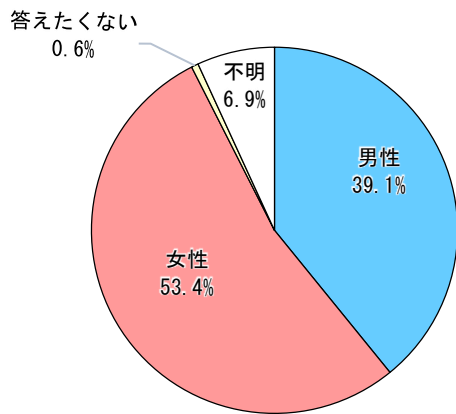
回答者の性別、年齢等については以下のとおりです。

性別は「男性」が39.1%、「女性」が53.4%と、女性がやや多くなっています。年齢は「60～69歳」が20.8%、「70歳以上」が33.0%と、半分強が60歳以上となっています。

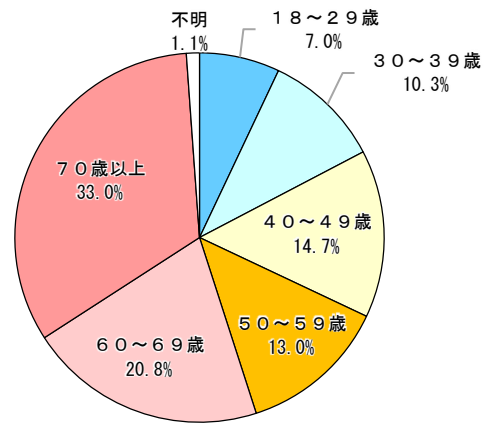
住所は「中部（尾道地域）」が26.4%、市内居住年数は「20年以上」が78.3%と大部分を占めています。

家族構成は、「夫婦のみ」が30.8%、「本人と子供の二世帯」が29.3%と多いですが、単身世帯を含め、比較的いろいろな家族構成に分散しています。

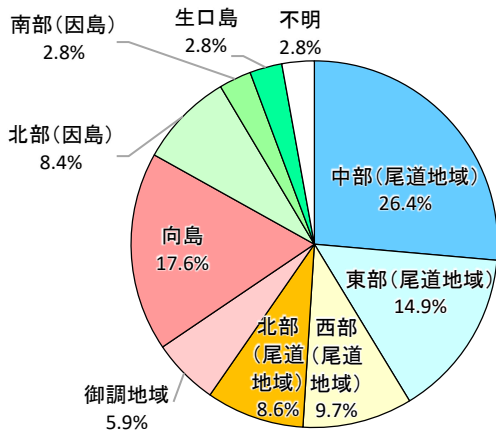
■性別



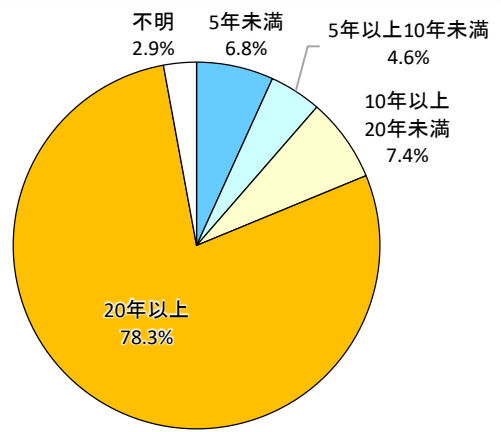
■年齢



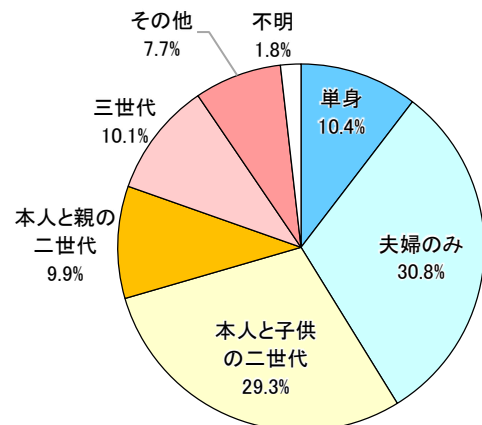
■住所



■市内居住年数



■家族構成



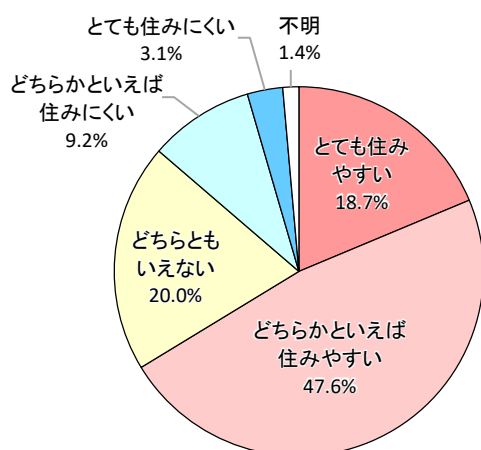
## 2. 住みよさ・愛着に関する評価

尾道市の住みよさと尾道市への愛着についておたずねしました。

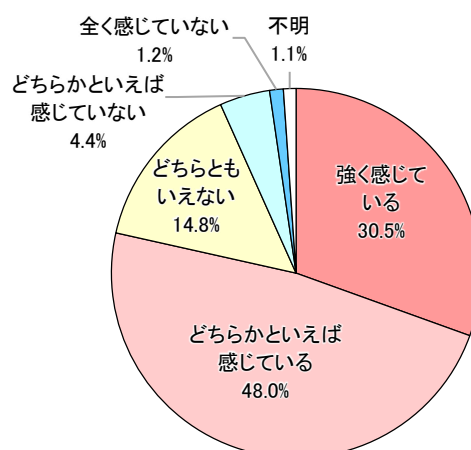
「住みよさ」では、「どちらかといえば住みやすい」が47.6%で最も多く、「とても住みやすい」(18.7%)と合わせた『住みよいと感じている』人は6割を超えています。

また「愛着」では、「どちらかといえば感じている」が48.0%で最も多く、「強く感じている」(30.5%)と合わせた『愛着を感じている』人は8割近くを占めています。

■住みよさ



■愛着

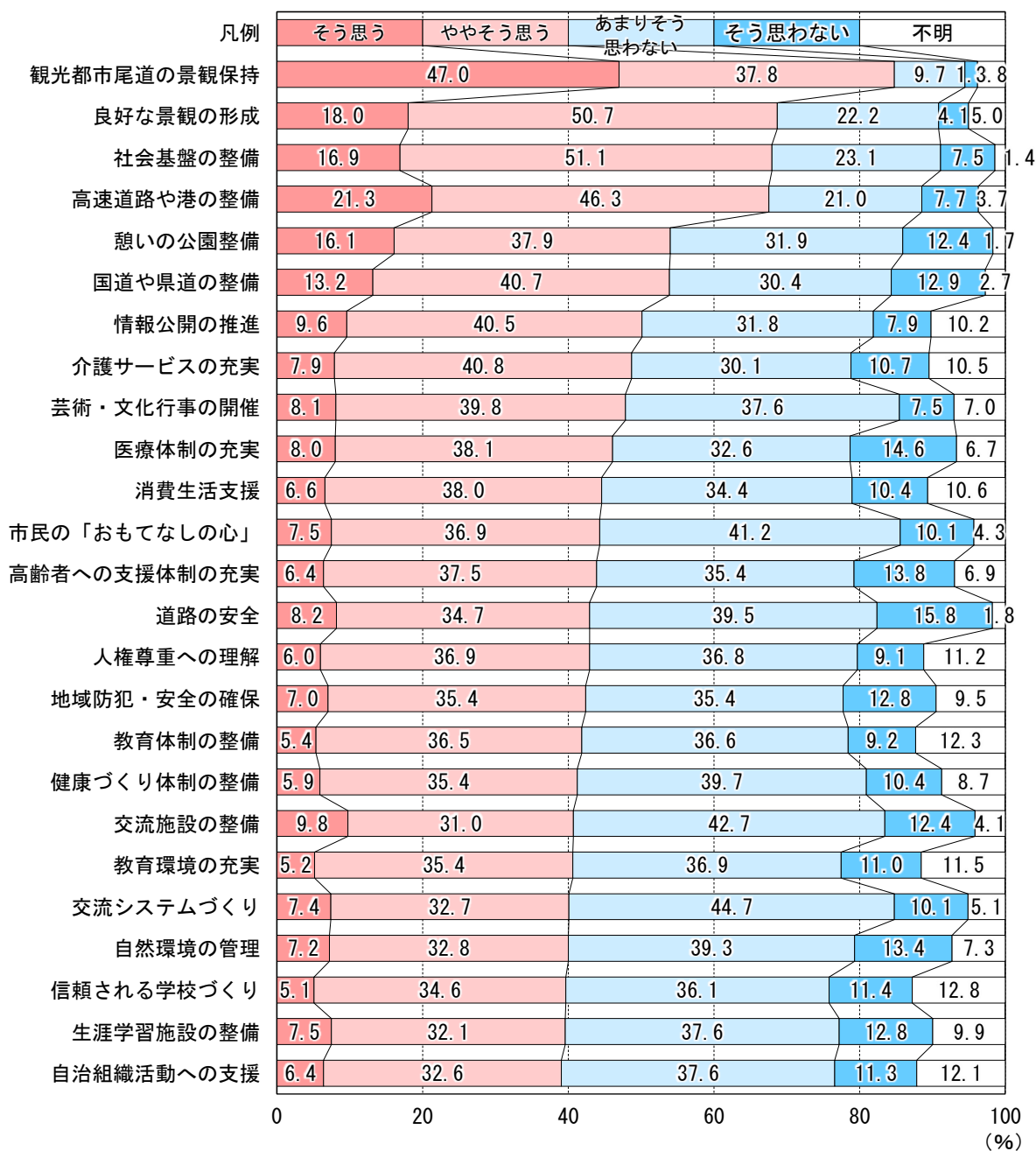


### 3. 施策目標に関する評価

#### (1) 現状の満足度評価

尾道市の取り組んでいる各分野の施策に関する現状の評価をみると、「観光都市尾道の景観保持」が最も多くの方が『満足している』（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）と回答しており、「良好な景観の形成」や「社会基盤の整備」、「高速道路や港の整備」についても6割以上の人が『満足している』と回答し、「憩いの公園整備」、「国道や県道の整備」、「情報公開の推進」も半数以上の方が満足していると回答しています。

尾道市での暮らしに関する「現状の評価（満足度）」（満足度の高い順）

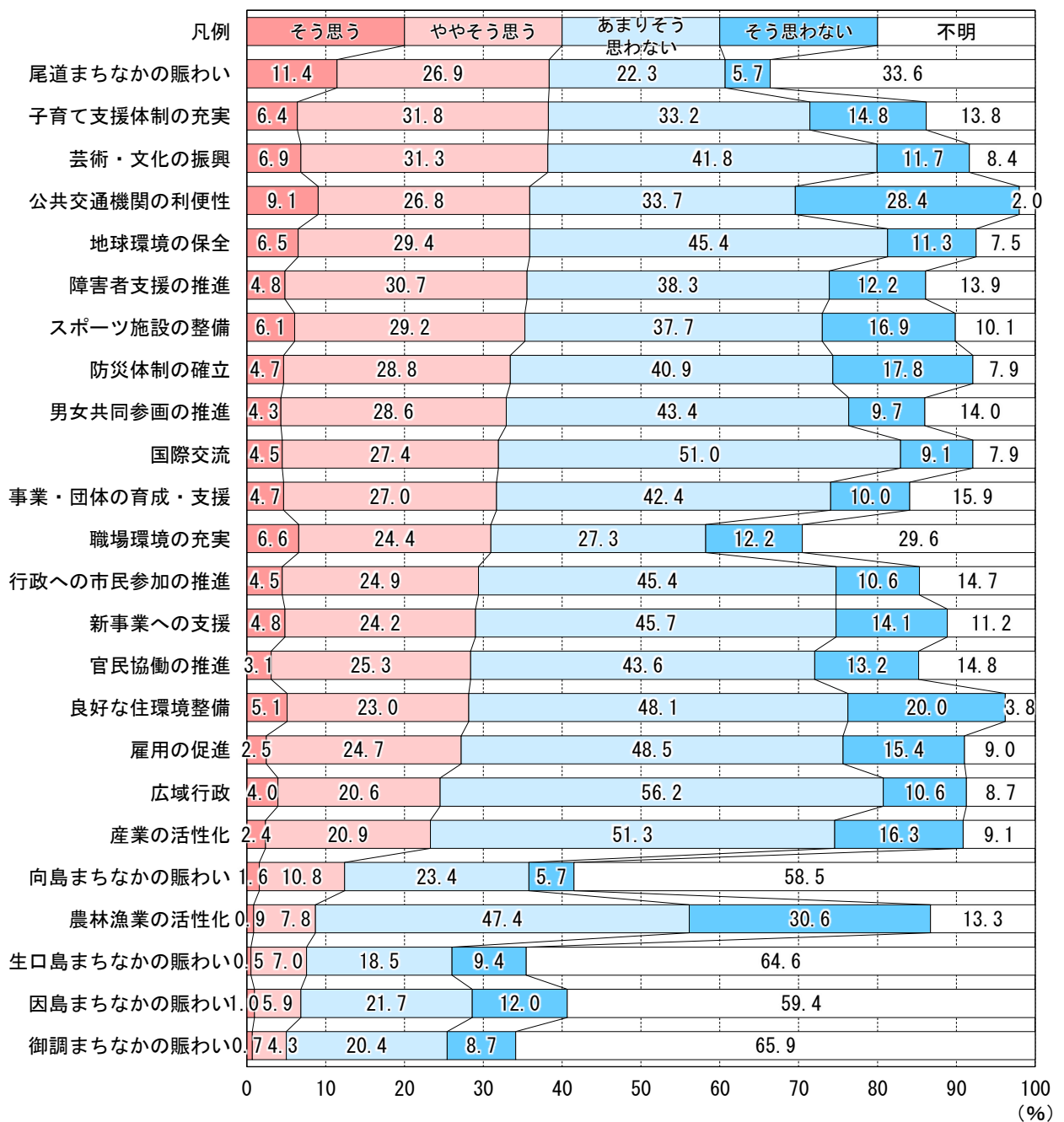


一方、「農林漁業の活性化」については、『満足している』という回答は2割以下と非常に低くなっており、「産業の活性化」、「広域行政」、「雇用の促進」、「良好な住環境整備」、「官民協働の推進」、「新事業への支援」、「行政への市民参加の推進」なども『満足している』と回答した人は3割以下と少なくなっています。

※各地区の「まちなかの賑わい」については、身近な地域以外を評価していない人が多く、不明の比率が高くなっています。

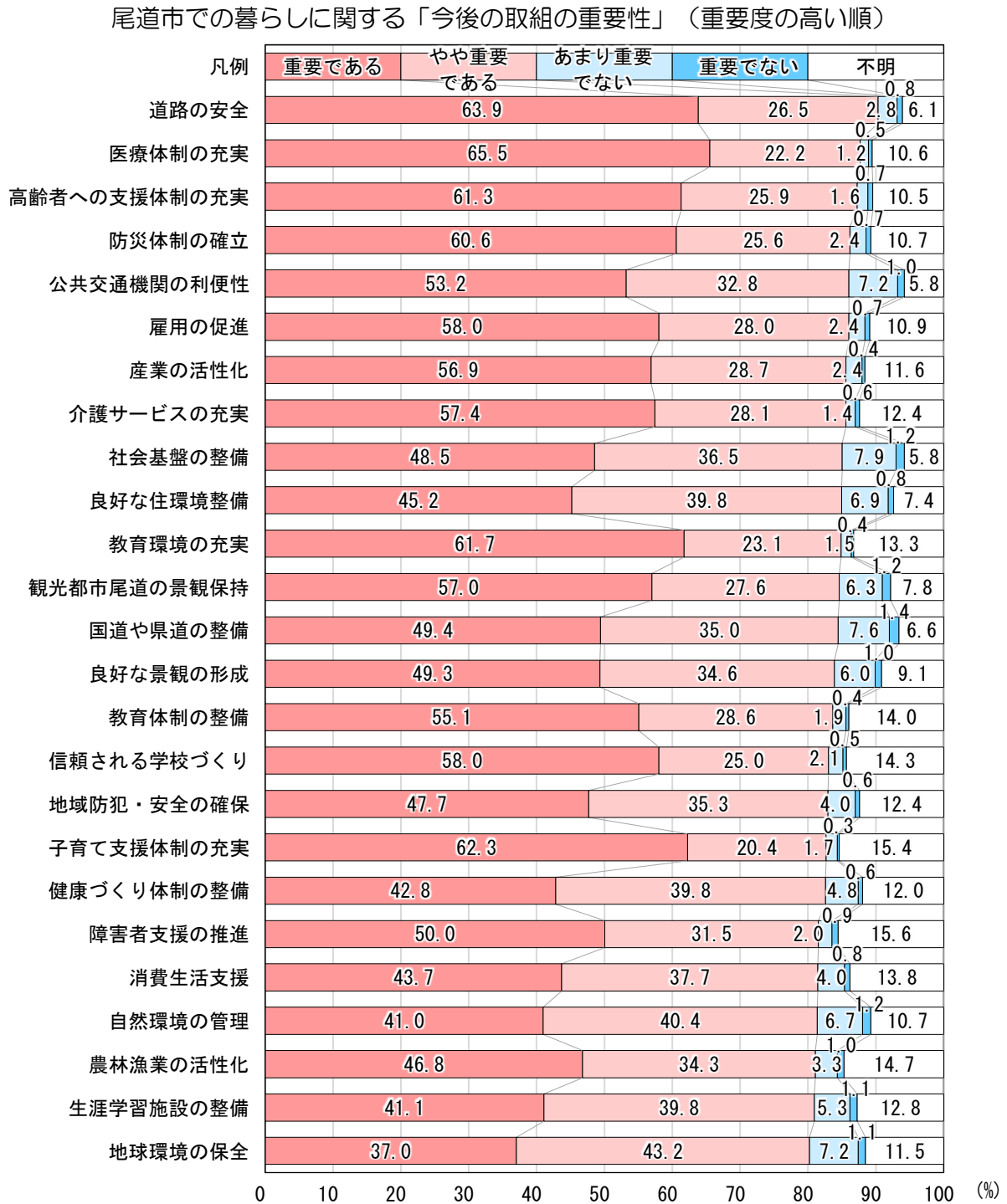
なお、最も評価の低い「そう思わない」のみで見ると、「農林水産業の活性化」で3割以上となっているほか、「公共交通機関の利便性」、「良好な住環境整備」でも2割以上と高くなっています。

尾道市での暮らしに関する「現状の評価（満足度）」（満足度の高い順）（つづき）



(2) 今後の取組の重要性

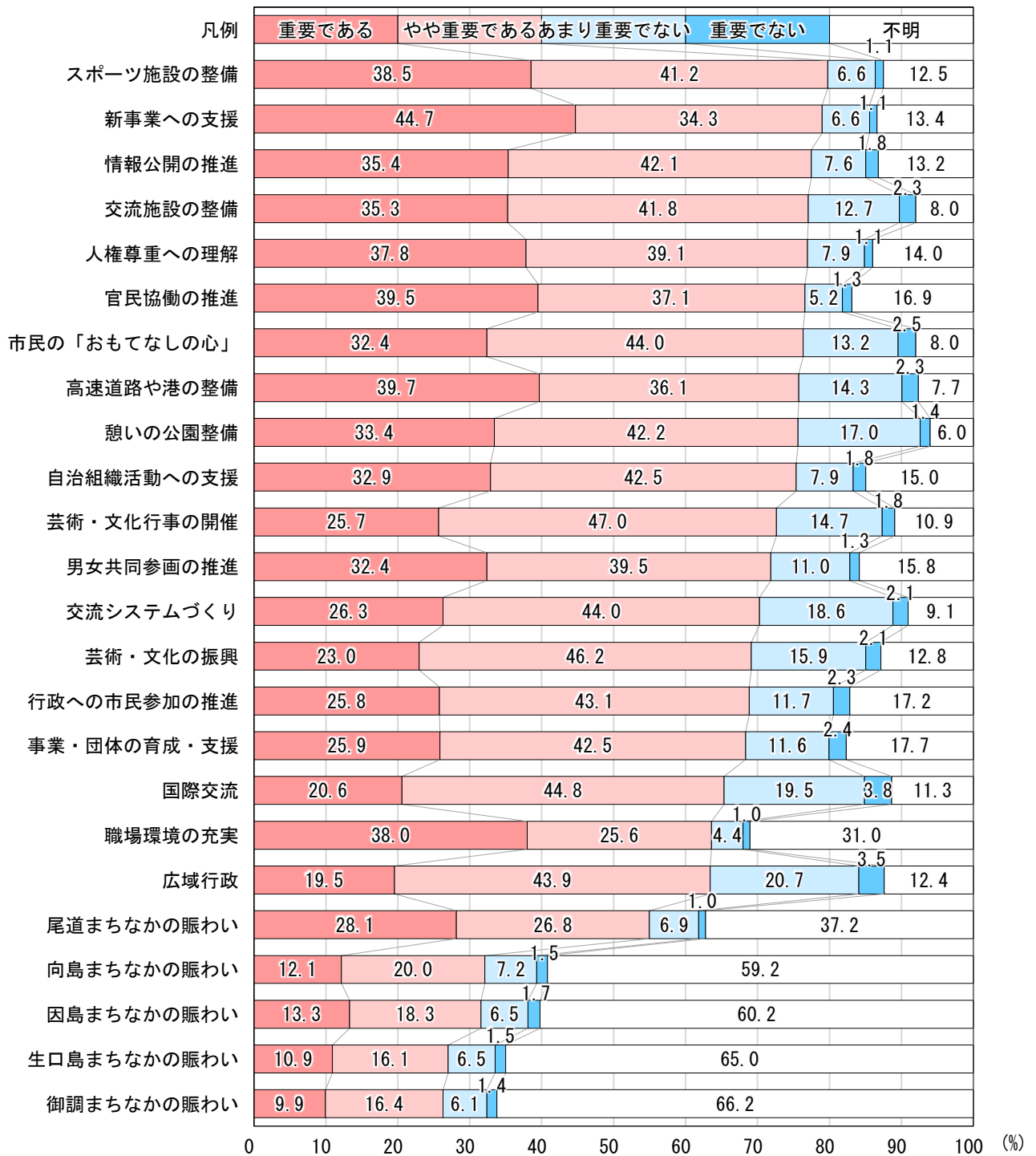
尾道市の取り組んでいる各分野の施策に関する今後の取組の重要性をみると、「道路の安全」は『重要』（「重要である」と「やや重要である」の合計）回答した人が9割を超えており、「医療体制の充実」や「高齢者への支援体制の充実」、「防災体制の確立」、「公共交通機関の利便性」、「雇用の促進」、「産業の活性化」、「介護サービスの充実」、「社会基盤の整備」、「良好な住環境整備」なども8割以上の人が重要と回答しています。



一方、「広域行政」、「職場環境の充実」、「国際交流」、「事業・団体の育成・支援」、「行政への市民参加の推進」、「芸術・文化の振興」については、『重要』と回答した人が7割を下回っています。

※各地区の「まちなかの賑わい」については、身近な地域以外を評価していない人が多く、不明の比率が高くなっています。

尾道市での暮らしに関する「今後の取組の重要性」（重要度の高い順）（つづき）





### (3) 満足度と重要度の対比分析

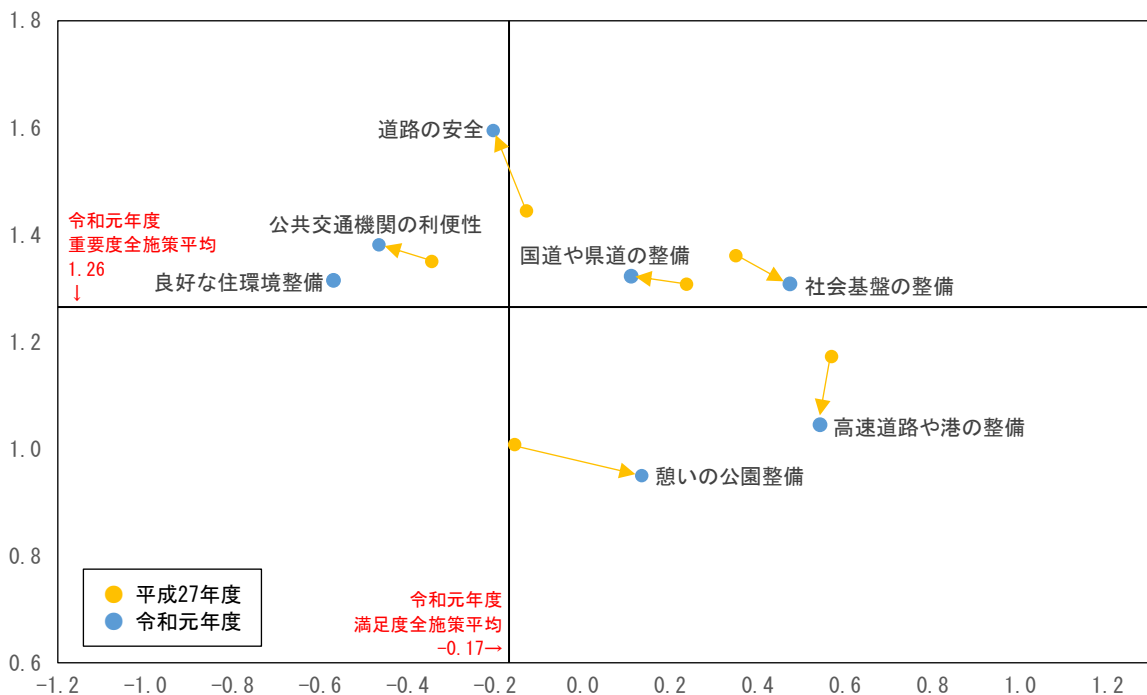
総合計画の施策目標について、(1)で現状の満足度、(2)で今後の重要度に関する評価を見ましたが、それらを前回調査と合わせて見比べるため、満足度を横軸に、重要度を縦軸に取って各施策目標の評価の分布を示したのが下のグラフです。右側に行くほど満足度が高く、上側に行くほど重要度が高いことを示しています。

平成27年度と今回の調査結果から、その変化をみると、満足度では「良好な景観の形成」や「雇用の促進」、「憩いの公園整備」、「尾道まちなかの賑わい」などは満足度が大きく高まっています。逆に、「御調まちなかの賑わい」や「障害者支援の推進」、「行政への市民参加の推進」、「生涯学習施設の整備」などでは満足度が低下しています。

重要度の変化でみると、「良好な景観の形成」や「道路の安全」、「官民協働の推進」、「スポーツ施設の整備」、「高齢者への支援体制の充実」などは重要度が大きく高まっています。逆に「向島まちなかの賑わい」や「市民の「おもてなしの心」」、「因島まちなかの賑わい」、「交流システムづくり」などでは重要度が低下しています。

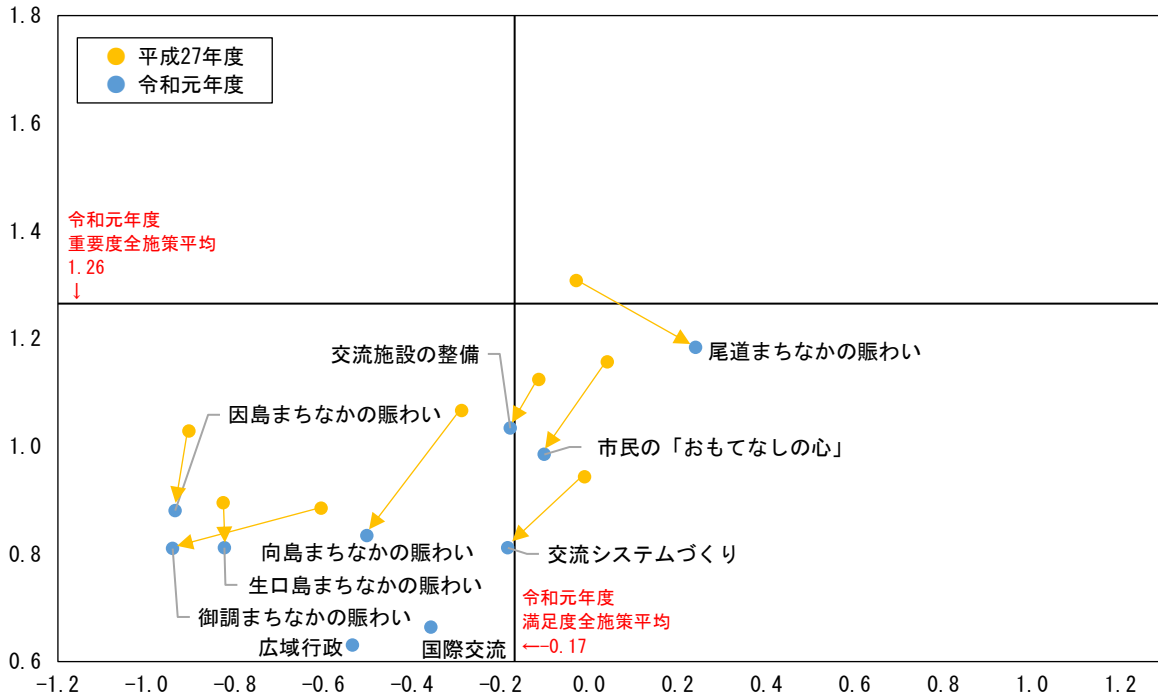
尾道市の生活環境・取組に関する市民の満足度・重要度（前回調査比較）

#### 【交通・生活基盤】

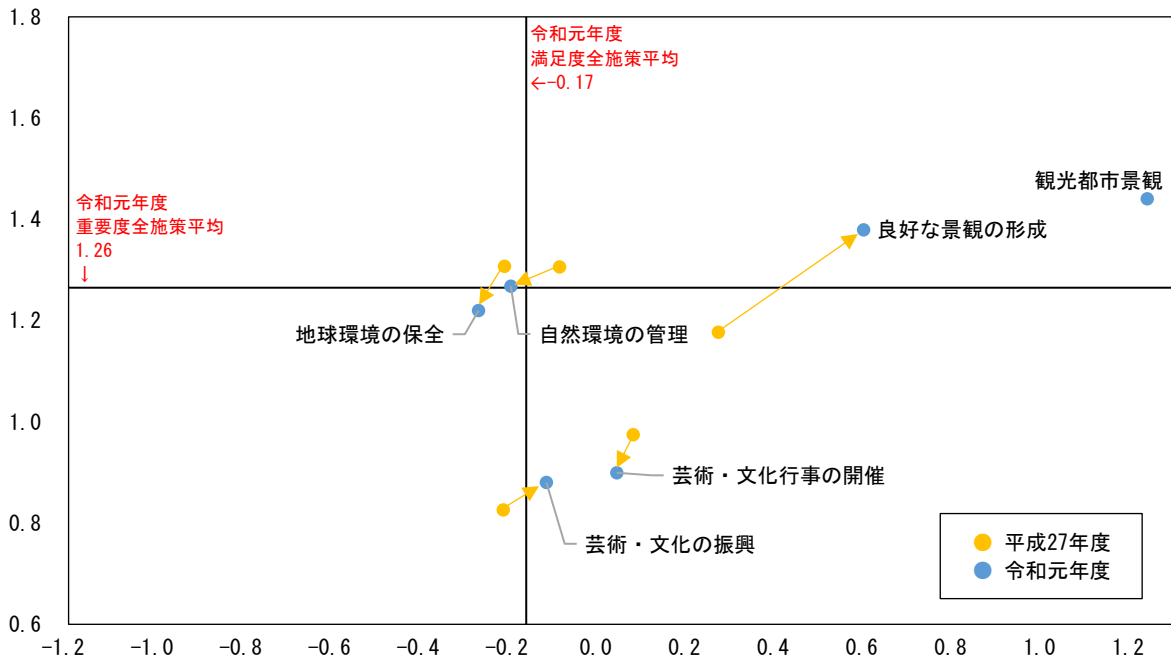




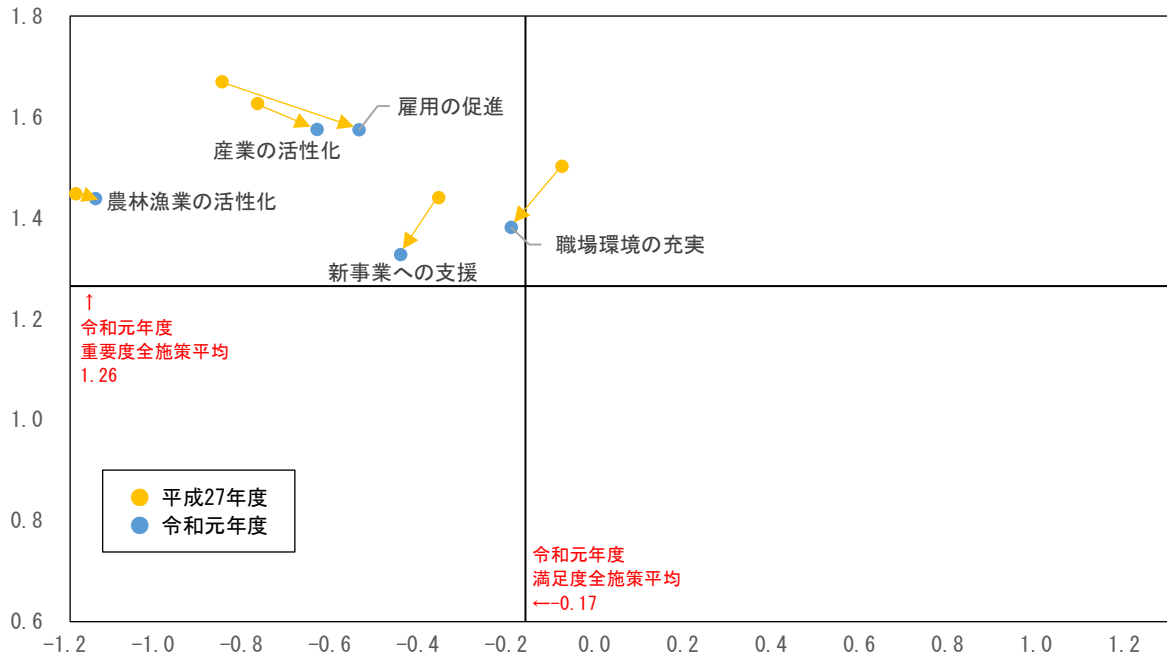
【交流】



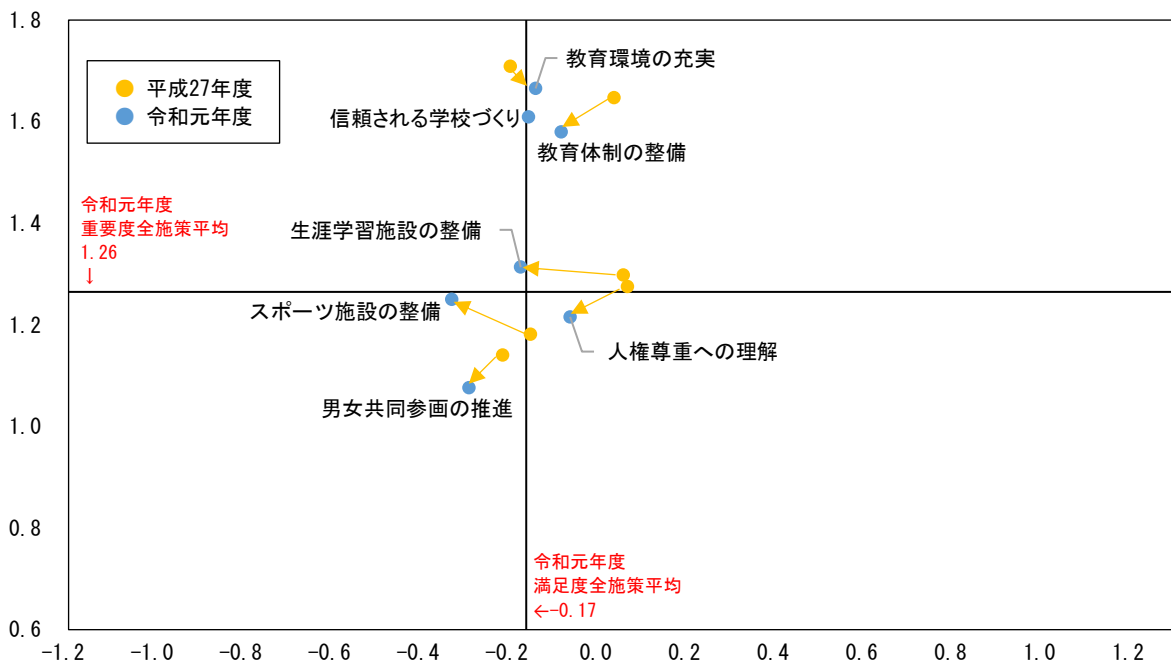
【地域の文化・景観】



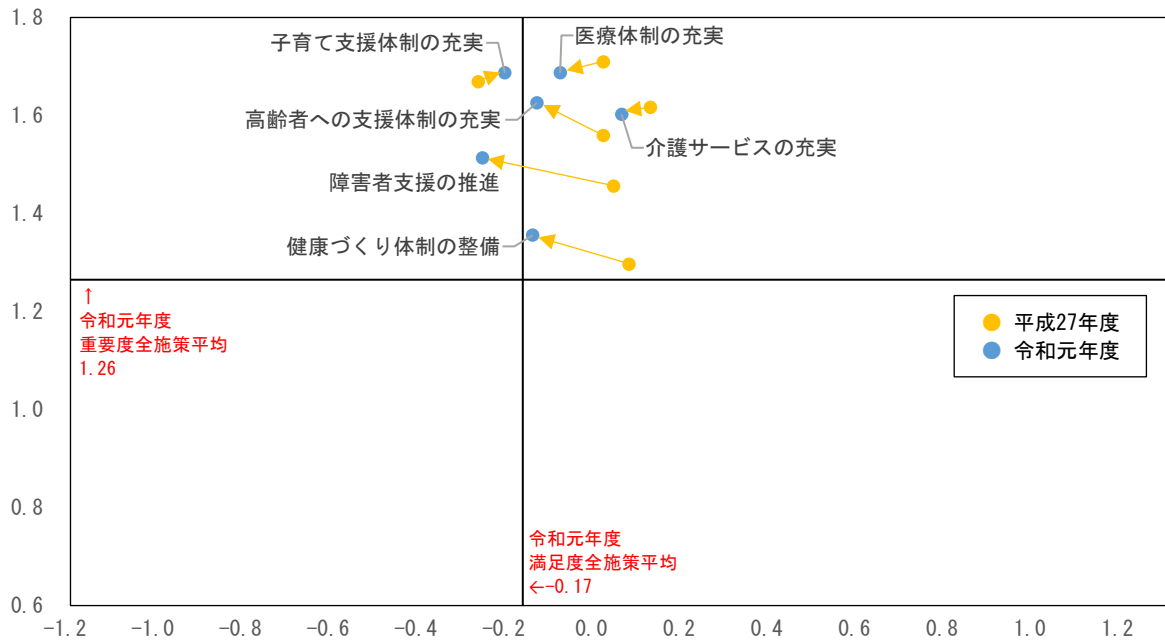
【産業】



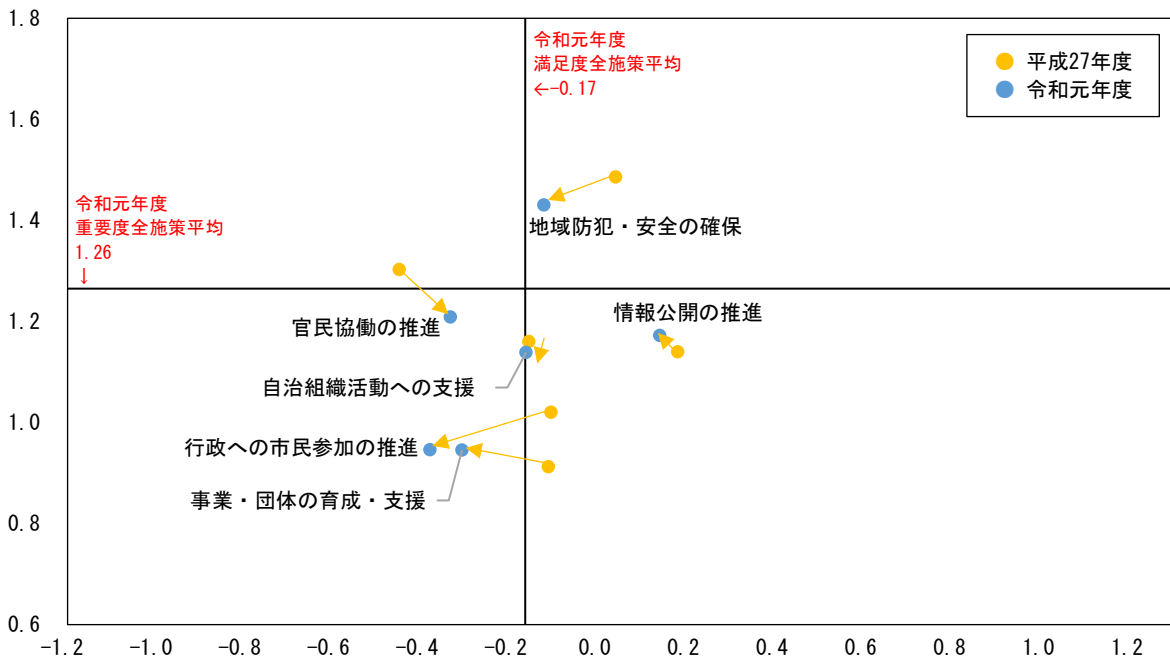
【教育・学習】



【子育て・医療・福祉】



【市民協働】



【安全安心】

